

7月10日(木) ZEH協 運営委員会 議事録

開催日時	2025 年 7 月 10 日(木) 14:00~15:00
開催場所	ZOOM
参 加 者 (敬称略)	(理事) 河村 郷志 エルクホームズ株式会社 (会員) 辻 傑 株式会社アイシン 布井 洋二 旭ファイバーグラス株式会社 本間 隆太 ハウスプラス住宅保証株式会社 加納 公生 三菱電機株式会社 (事務局) 荒川 源 事務局長 飯田 満希 事務局

議題 1	件名	税理士交代について
内容	事務局より、現行の税理士（辻・本郷 税理士法人）から、新たな税理士（鳥居氏）への変更提案がなされた。鳥居氏は個人で開業しており、複数の一般社団法人に対する業務実績を有している。 事務局による説明 新たに候補として挙げられている鳥居税理士の見積内容は以下のとおり。 月額顧問料：17,000 円 × 12 ヶ月 = 204,000 円／年 決算書類作成費：60,000 円 年間合計：264,000 円 一方、現行の通じ本郷事務所との契約費用は年間 728,000 円であり、変更により年間費用を約 36％に抑えることが可能となる。 参加者からは、「変更の問題はない」との賛同意見が出された。	

議題 2	件名	シンポジウム内容検討について
内容	2025 年度の ZEH 推進協議会活動の一環として 「GX 志向型 ZEH（GX ZEH）」の考え方を広く発信するためのシンポジウムを開催する。GX との接続を意識した ZEH の新たな潮流を提示し、これからの高付加価値な ZEH のあり方を、住宅事業者・建材設備メーカー・評価機関・制度関係者などと共有することを目的とする。 開催時期：2025 年 12 月初旬頃を想定 開催形式：オンライン プログラム構成（案）	

1. GXZEH の内容説明と基調講演

GXZEH の最新情報（パブリックコメントの取りまとめ案など）の説明。

秋元先生に登壇いただき、ZEH の今後の方向性についての基調講演を依頼する。

2. 『ZEH の作り方』（住宅設備産業協会）の紹介

住宅設備産業協会発行の冊子『ZEH の作り方』の紹介を盛り込む。特に、初心者向けの入門編に焦点を当て、たすきがけ計算などについて説明する。

3. ビルダーによる実例紹介・パネルディスカッション

参加ビルダーが不安に感じている「本当にこれでいいのか」という疑問に対し、メーカーのシミュレーションや実際のデータに基づいた実例紹介を行う。

ZEH 推進協議会のトップビルダーの中でも地域や工法の異なるビルダーに登壇を依頼し、リアルなデータや生活の様子を共有してもらう。

ZEH-M（集合住宅）に取り組むビルダーにも登壇を依頼し、低層アパートなどでの ZEH 化の現状や課題、オーナー視点での取り組みについて議論する。

4. WebPro の活用術と未評価技術に関する議論

断熱等級 6 の仕様説明として、全断熱材メーカーの等級 6 仕様の紹介や、KKJ のおすすめ設備ガイドの活用について触れる。

WebPro の深掘りした活用術、特に「高効率省エネコンプレッサー」のチェックボックスや「三種換気」の取り扱い、地域ごとの計算結果の違い、冷房効果の未反映といった、ビルダーが悩むポイントや「裏技」的なノウハウを解説する。

メーカーや団体が委員会に入り、エビデンスを積み上げることの重要性や、ペレットストーブのように評価されるようになった「未評価技術」についてもパネルディスカッションのテーマとして検討する。

5. 今後の進め方

事務局にて、シンポジウムの企画書案を作成し、次回運営委員会までに提出する。スケジュール感も明記し、具体的な検討を進めていく。

議 題 3	件名	家電製品協会 ZEH コーディネーター資格について
内 容	ZEH 推進協議会（ZEH 協）は、家電製品協会が検討中の「ZEH コーディネーター」資格について、その普及支援依頼を議論した。 この資格は太陽光発電と蓄電池に特化した内容で、住宅会社の営業担当者向けとされている。 しかし、HEMS や DR などの ZEH の総合的な知識が欠如している点、また既存の「スマートマスター」資格との重複を懸念の声などが上がった。 ZEH 協は、「ZEH コーディネーター」という名称は評価しつつも、資格内容が ZEH 本来の定義に沿うよう家電製品協会の委員会にメンバーを派遣し、共同資格としての位置づけを働きかける方針。 今後、家電製品協会からの正式回答を待ち、関係各社の意見を調整しながら、資格の有効な活用方法を検討していく。	